

**大塚テクノ株式会社、脱炭素社会の実現に向け、  
再生可能エネルギー由来の電力を国内全工場に導入  
～国内全工場での CO<sub>2</sub> 排出量ゼロへ～**

株式会社大塚製薬工場(本社:徳島県鳴門市、代表取締役社長:小笠原信一)の子会社である大塚テクノ株式会社(本社:徳島県鳴門市、代表取締役社長:月井完治、以下「大塚テクノ」)は、鳴門工場および鷺敷工場の国内全2工場におきまして、4月1日より、外部から購入する全ての電力を100%再生可能エネルギー由来の電力に切り替えますのでお知らせいたします。

これにより、大塚テクノの国内全工場での CO<sub>2</sub> 排出量はゼロ<sup>※1</sup>となり、年間およそ約 8,000 トン(約 2,900 世帯の年間排出量に相当<sup>※2</sup>)の CO<sub>2</sub> 排出量が削減できる見込みです。

大塚グループは、脱炭素社会への移行に向けて、事業活動におけるすべての環境負荷をゼロにするという 2050 年環境ビジョン「ネットゼロ」に基づき、「2028 年までに CO<sub>2</sub> 排出量 2017 年比 50%削減」の目標を掲げ、CO<sub>2</sub> 排出量削減に積極的に取り組んでいます。

大塚テクノは、この目標のもと、太陽光発電設備の導入や植樹活動、微細藻類培養により CO<sub>2</sub> を固定化するフォトバイオリアクターの開発などの環境への取り組みを推進し、環境負荷低減に取り組んでいます。今後も、環境に配慮したメーカーとして、サステナブルなモノづくりを推進してまいります。

大塚グループは、今後も新しい技術やソリューションの活用を通じ、グループ一体となって脱炭素社会の実現、ひいてはサステナブルな社会の実現への貢献を目指してまいります。

※1 省エネ推進や再生可能エネルギー導入、化石燃料由来 CO<sub>2</sub> の排出をオフセットするクレジットの活用などによって削減される実質 CO<sub>2</sub> 排出量を含む

※2 令和3年度 環境省 家庭部門の CO<sub>2</sub> 排出実態統計調査より

## 会社概要

### 株式会社大塚製薬工場 (Otsuka Pharmaceutical Factory, Inc.)

設 立 : 1969年10月7日(創立 1921年9月1日)  
資 本 金 : 8,000万円  
代 表 者 : 代表取締役社長 小笠原 信一 (おがさわら しんいち)  
本 社 所 在 地 : 〒772-8601 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原 115  
従 業 員 数 : 2,271名 (2022年12月31日現在)  
事 業 内 容 : 臨床栄養製品を中心とした医薬品、医療機器、機能性食品等の  
製造・販売および輸出入  
U R L : <https://www.otsukakj.jp/>

### 大塚テクノ株式会社 (Otsuka Techno Corporation.)

設 立 : 1985年12月2日  
資 本 金 : 4,000万円  
代 表 者 : 代表取締役社長 月井 完治 (つきい かんじ)  
本 社 所 在 地 : 〒771-0360 徳島県鳴門市瀬戸町明神字板屋島 120番 1  
従 業 員 数 : 436名 (2022年12月31日現在)  
事 業 内 容 : 医薬品用プラスチック容器部材・精密成形品の製造販売  
U R L : <https://www.otsuka-techno.co.jp/>